

## 執筆 者 (掲載順)

- 小 池 理 恵 (国際言語文化研究科 英米言語文化専攻 教授)  
佐 野 富士子 (国際言語文化研究科 英米言語文化専攻 教授)  
河 上 睦 (東京電機大学 専任講師)  
原 田 淳 (獨協中学・高等学校 教諭)  
甲 斐 順 (神奈川県立柏陽高校 総括教諭)  
白 木 賢 信 (国際言語文化研究科 国際教育専攻 教授)  
谷 誠 司 (国際言語文化研究科 国際教育専攻 教授)  
宮 崎 佳 典 (静岡大学 学術院情報学領域 教授)  
安 志 英 (群山大学 東アジア学部 助教授)  
元 裕 璟 (高麗大学大学院 博士課程)  
谷 口 茂 謙 (国際言語文化研究科 英米言語文化専攻 教授)  
戸 田 勉 (国際言語文化研究科 英米言語文化専攻 教授)  
若 松 大 祐 (国際言語文化研究科 国際教育専攻 准教授)  
増 井 実 子 (国際言語文化研究科 国際教育専攻 教授)  
山 田 昌 史 (国際言語文化研究科 英米言語文化専攻 教授)  
原 田 卓 (国際言語文化研究科 国際教育専攻 院生 [静岡サレジオ小学校 教諭])

## 《編集後記》

常葉大学大学院国際言語文化研究科研究紀要創刊号をお届けします。企画から実施まで時間的な余裕のない中で、論文7編、報告3編、合計10篇の投稿があったことは、よい意味で想定外でした。先生方と事務の方々のご理解とご協力に対し心より感謝申し上げます。

21世紀に急速にインターネット社会が進化すると、真実と虚構が入り混じった情報が蔓延するようになりました。fake news、post-truth、alternative truthといった言葉の流行がその証左となりましょう。そのような世界の中で、私たちは知の探究を地道に続けてゆかなければなりません。そして、真なるものを見極める力を養い、それを学生に、社会に還元してゆくことがその使命となります。真実を知ることは、真実と虚構の区別がつかない混沌に生きる私たちを解放することにもなるはずです。

このような精神を互いに共有しながら、この紀要の発行を継続してゆきたいと考えております。今後とも引き続き関係者の皆様のご協力をお願い申し上げます。

(戸田 勉)

### 常葉大学大学院国際言語文化研究科 研究紀要 編集委員会(2019年度)

委員長	戸田 勉
副委員長	佐野 富士子
委員	大川 信子
委員	清 ルミ

#### 常葉大学大学院 国際言語文化研究科 研究紀要 創刊号

2020年3月

#### 常葉大学大学院 国際言語文化研究科

〒422-8581 静岡市駿河区弥生町6番1号

TEL: 054-297-6133 FAX: 054-297-6101

E-mail: pgcjim@sz.tokoha-u.ac.jp

印刷: 株式会社篠原印刷所

〒422-8033 静岡市駿河区登呂6丁目7番5号

TEL: 054-286-5141 FAX: 054-285-6261